



大阪市をのこし 大きな財源でより良い大阪に



大阪市をなくすのか、それとも存続させるのかが、問われる住民投票。
大阪市の「説明パンフ」には良いことばかり、ホンマでしょうか。
私たちのくらしや営業がどうなるのか——
大阪市のままと、「特別区」になったときを比べてみました。



あるとき ← 大阪市の → ないとき 特別区になると

市民サービス

大阪市の「説明パンフ」には「特別区設置の際」(2025年1月1日だけ)は維持、とだけ。
ところが、維新は「拡充すると協定書に書き込んだ」などと宣伝しています。
大阪市を廃止・分割するコストは1,300億円(15年)。
お金がない特別区になり住民サービスが必ず後退します。



独自サービスは続けられます。廃止コストの負担なし!

- さらに大阪市の**大きな財源**を使えばこんなこともできます。
- 18歳までの医療費窓口負担ゼロ(19億円)
- 30人学級(102億円)
- 市立大学の授業料を全員半額に(16億円)
- 保育士(勤続7年以上)の給与月4万円引き上げ(10億円)

あるとき

廃止コスト1,300億円が重石に!

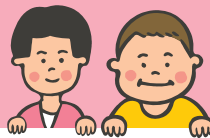
- 市の独自サービスは**切り捨てられる**ことになり
ます。
- 18歳までのこどもの医療費助成
- 敬老パス ● 塾代助成
- 学校給食の無償化 など

ないとき



市民利用施設

特別区設置での財政シミュレーションは削減が前提です。



- プール → **24か所**
- スポーツセンター → **24か所**
- 老人福祉センター → **26か所**
- 子育てプラザ → **24か所**



あるとき

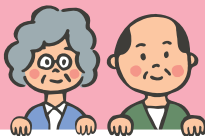
- プール → **9か所**
- スポーツセンター → **18か所**
- 老人福祉センター → **18か所**
- 子育てプラザ → **18か所**



ないとき

介護保険・地域福祉

大阪市の介護保険料は非常に高く、高齢者の暮らしを圧迫しています。
大阪市にやる気さえあれば引き下げは可能です。



保険料の引き下げはできる!

高齢者の暮らしを応援しよう! と**市長と市議会が決めれば**できます。

あるとき

ないとき

保険料の引き下げは、一つの「特別区」だけではできません。4つの特別区が共同でつくる**一部事務組合が運営するため市民の声が届きません。**

特別区になると24区の区社会福祉協議会(区社協)がなくなり介護保険事業や防災対応で混乱必至です。

市と24区の社協で**地域福祉を推進**しています。

あるとき

ないとき

社協は4特別区に分散、**今ある24区の社協は無くなります。**



弁護士
石田法子さん

みおつくしの鐘を聞いて育った大阪市民として反対です。カジノ=バクチ場の寺銭で子どもたちを育てるわけにはいきません。今の法律では元に戻る方法はありません。疑問をお持ちの方は、反対と書いてください。



浪速産業(株)社長
中野雅司さん

「大阪市廃止」を問う大変な住民投票がスタートです。推進側がここに来て「住民サービスが良くなる」と言い出しましたが、詐欺的手法です。「都構想」や「カジノ」ではなく、真つ当な方法で、大阪市の発展させたい。



大阪市議
山中智子さん

大阪市の4つに分けると経費は絶対増え、国の交付金は増えず、予算が足りない特別区では「住民サービス」は低下します。それが都構想の設計図から見える未来の姿です。ひとりでも多く反対を呼びかけます。



「大阪市をよくする会」機関紙
2020年10月17日 第437号
大阪市の見解をお知らせします

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-13-15 大阪グリーン会館3階
TEL(06)6809-1553 FAX(06)6357-5303
HP: <http://www.yokusurukai.com> Mail: yokusurukai@nifty.com

大阪市のよくなる会は、大商連、大阪労連、民医連、新婦人、共産党、障連協、大生連、大借連、民青、民権連、年金者組合などで構成されています。

大阪市のよくなる会

